

2022年4月8日 第3380回例会

於： 横須賀商工会議所



幸仕しよう みんなの人生を豊かにするために

<点鐘・開会> 12:30 八巻 会長

<黙 唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> * JBC (日本ボクシングコミッション) 試合役員会会長

吉田 和敏 様

*

吉田 博子 様

<ビジター紹介> *国際ロータリー第2780地区ガバナー

田島 透 様

*横須賀北ロータリークラブ 社会・国際奉仕委員長

芹澤 達之 様

*三浦ロータリークラブ 社会奉仕委員長

鈴木 康仁 様

*横須賀西ロータリークラブ 幹事

嘉山 賢 様

*横須賀南西ロータリークラブ 奉仕プロジェクト副委員長

赤木 慎一郎 様

<地区ガバナー挨拶>

*4月20日、21日の地区大会について、2年ぶりにリアルで開催でき協力感謝している

*会員増強については引き続き取り組みをお願いしたい

<会長報告> *ガバナー事務所より

・ウクライナ難民支援の義捐金へのご協力のお願いについて

・第8回ローターアクト委員会開催のご案内について

日 時：4月17日(日) 13:00～ 於：第一相澤ビル8F及びZoom

・第7回日台ロータリー親善会福岡大会のご案内について

日 時：5月6日(金) 15:00 リアル参加受付

16:00 式典・活動報告会

17:00 懇親会

場 所：ホテルニューオータニ博多 4F 鶴の間

登録料：22,000円(オンライン10,000円)

<委員長報告> *雑誌委員会 福西委員長よりロータリーの友4月号

*インターアクト委員会 鈴木(之)委員長より

4月24日(日) インターアクト・ローターアクトとの合同奉仕活動について

横須賀西ロータリークラブと合同で実施

場所：観音崎 参加者は理事・社会奉仕委員会メンバーに直接依頼する

<幹事報告> *例会終了後 軍港巡り及び懇親会 開催

<出席報告> *出席委員会 加藤 勲 委員長より4月8日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
114名	105名	80名(3名)	25名	2名	78.10%

<ニコニコ報告>

・芹澤達之様(横須賀北RC) お久しぶりです。本日はよろしくお願ひいたします。

・鈴木康仁様(三浦RC) 本日は第1グループ奉仕デーの打合せに参加致しました。よろしくお願ひ致します。

・嘉山 賢様(横須賀西RC) 今日はお世話になります。宜しくお願ひ致します。

・赤木慎一郎様(横須賀南西RC) お久しぶりで御座います。本日はどうぞ宜しくお願ひします。

・三 役 日本ボクシングコミッション試合委員会会長 足立ロータリークラブ 吉田和敏様ようこそお越し下さいました。卓話、軍港クルーズ楽しみにしています。

・大野 勲、福 西、松本 勲、瀬 戸、植 田、小 平、江 口、勝 間、上 林、岡田 勲、澤 田、田 邊、根 岸、齋藤 勲、笠 木、長 坂、高 橋、曾 我、前 川 各会員

日本ボクシングコミッション試合委員会会長 吉田和敏様、ようこそ例会にお越しくださいました。本日の卓話を楽しみにしています。

- ・三 役 国際ロータリー第2780地区ガバナー 田島 透様ようこそ横須賀ロータリークラブへお越しくださいました。本日の例会をお楽しみください。
- ・大野 健、福 西、植 田、新倉 健、中 村、猿 丸、角 井、北 村、大野 健、小 沢、勝 間、藤 村、杵 渕、谷、岡田 健、新倉 健、鈴木 健、佐久間、小佐野、徳 永、澤 田、田 邊、飯 塚、勝 見、平 松、高橋 健、波 島 各会員
本日のビジター第2780地区ガバナー 田島 透様、第1グループの皆様ようこそ横須賀RCにお越しくださいました。例会をお楽しみください。
- ・大野 健、勝 見、曾 我、八 木、齋藤 健、新倉 健、馬 場 各会員 誕生月祝いとして
- ・小 沢、大野 健、高 橋 各会員 入会月祝いとして
- ・田 村、小山 健、福 西、長 尾、大 石、杉 浦、齋藤 健、齋藤 健、佐久間、澤 田、臼 井、鈴木 健 各会員
春の陽気に誘われ、本日の例会後の軍港巡り及び懇親会に行きまして参ります。
- ・新倉 健、高 橋、小山 健 各会員
今日例会後の軍港巡り及び懇親会に参加される皆様、楽しんで行ってらっしゃい。
- ・鈴木 健 会員 本日、軍港巡りよろしくお願ひします。
- ・田中 健、小山 健 両会員 WBA ミドル級スーパーチャンピオン村田諒太 vs IBF ミドル級王者ゲンナジーゴロフキンとの統一王者を決めるスーパーマッチが4月9日(土)行われます。迫力ある試合、結果が待ち遠しいです。

<卓 話> 「 出 会 い ・ 感 謝 ボクシングのお陰で 」

JBC (日本ボクシングコミッション)
試合役員会 会長 吉 田 和 敏 様

今日はレフリーの服装で参りましたが、正確には少し違います。まずはシャツ、今のシャツは膨張色の白ですが、少し太めの僕は昔の青で来ました。そして靴、レフリーも選手と同じゴム底のリングシューズです。レフリーは黒子なので黒が良いです。選手と接触して怪我をしてしまうかもしれませんので、金属類を身に付けてリングには上がれません。眼鏡も結婚指輪、ベルトもダメです。結婚指輪が太ってしまって抜けなくなったため、ずっとレフリーをやれませんでした。減量してなんとか抜いて以来、また抜けなくなるのが嫌で指輪をしなくなりました。今では僕は独身ですかね、かみさんに拳固されますね。ベルトについては今は、許可されているのもありますので、レフリーのウエストにも注目してください。

本日はボクシング現役時代の話しをしたいと思います。高校生の時は何を隠そう呼び出し第一号、何となく学校に行きたくなくて、何日もサボり両親に心配をかけました。国学院大学に入学後、もう一度運動部に入ろうとしてゴルフ部を勧められましたが、選んだのは親父曰く何の役にも立たないボクシング部でした。

2年生まで勝てず一大奮起、親父の教えを実践しました。「人と同じことをしては人と同じにしかねない、人の2倍やれ」ということですが僕は3倍やりました。スタミナとパワーは他人より勝っていたので走ることを決断し、一日30km、雨の日も台風の日も休まず走りこみました。大学時代には親友との出会いもありました。褒め上手の九州男児、彼のお陰で自信が付きました。

3年生の決勝戦、ちょうど父の日だったので親父を招待しました。当時アマチュアの試合はヘッドギアなどを付けておらず、下顎と左横顎を骨折しながらも優勝しました。優勝する姿をどうしても見せたかった親父は満足そうな嬉しそうな最高の笑顔をしていました。3年生の秋にはキャプテンになりました。両親のモットーである率先垂範、誰よりも練習して皆を引っ張りました。ボクシング部は順調でしたが、学業の方が危うくなりました。4年間での卒業と日商簿記取得という親父との約束を守るため夜間で簿記学校にも通うことにしました。4年生の決勝戦の相手は、赤門パワーと呼ばれスポーツが強かった東大の早稲田選手。この選手は大変強く、ほとんどの試合ノックアウト勝利でした。「東大の早稲田選手、KO勝ちです」と(三大学の名前が入る)アナウンスで話題でした。対決の前、通っていた簿記学校の欠席届に親父が「これは一番縁起がいい判子なんだぞ」と言いながら押してくれたことは、今も忘れられません。

こんな話をしたらボクシングをしたくなりました、皆さんここで少しやってみましょう。

(全員立って、構え、ジャブ、ストレートをやってみる)

ありがとうございます。きっとこの中から世界チャンピオンが出ると思います、話を続けます。卒業後一度は企業に就職するも、自分の可能性に挑んでみたいとプロボクサーになることを決め、配属されたファミリーレストランの仕事の前後、早朝深夜に再び走り始めました。けれどプロで成功するにはどうしても無理でした。規則正しい生活リズムが必要だったのです。親父の勧めで25歳までという条件付きで実家に戻りました。そして故大場政夫さん、そして、彼を母親のように厳しく温かく育て上げたマネージャー長野ハルさんがいた名門の帝拳ジムに入門することにしました。彼女のことをボクシング界で知らない人は誰もいません。皆から親しみを込めて「お姉さん」と呼ばれていました。お姉さんはプロになった私のマネージャーでもありました。デビュー戦、ボクシングの聖地、後樂園ホールに50人以上が応援に駆けつけてくれました。しかし、僅か1分46秒でノックアウト。意識が戻った後、お姉さんのところに行き「すみませんでした」と言いました。その時、お姉さんの「今日はなかったことにしましょう」の一言にどんなに救われたかわかりません。翌日、恩師宮崎先生との電話で「吉田君、逆境にあった時、本当の人間性がわかるんだよ」と言われ、気づくと大粒の涙をいっぱい落としていました。ところが、人間て弱いんですよ。次第に走るのをやめ、ジムに行かず上野界隈をブラブラしては一杯やって家に帰ることもありました。そんなある朝、お袋が襖を開けて大きな声で「走らないのか。負けたままで悔しくないのか」と。私はこの一言で生まれ変わりました。そして屈辱の敗戦から8カ月後、プロ第2戦目で今度はノックアウトしました。この時は試合に誰も呼びませんでした。でも家に帰ったらお袋は知っていました。「お父ちゃん見に行っただよ」。親父は、あの父の日と同じ最高の笑顔でした。その後は試合に友人を招待し、自分自身にプレッシャーをかけ続けました。そして東日本新人王は準々決勝まで進んでいましたが、0対2の判定負けでした。もし勝っていたら3日後に25歳になっていた僕はボクシングを続けていたかもしれません。



その後、分かったことがあります。あの朝お袋が厳しく叱りつけたのは、ボクシングで得た自信や信念をボクシングで失わせてはいけないという親心だったと。今は心底感謝しています。そして、ボクシングに対する感謝の気持ちを込めて、JBCレフリーとしてリングに立っています。レフリーが試合前、選手をリングの中央に集めて何を話しているのか知っていますか。決まり文句はありません。細かい注意は耳に入りませんから、大切にしている気持ちを言います。「JBCルールを守って、ベストを尽くして、悔いを残さないように、頑張る」。今、一番の楽しみは出会った人達をボクシングに招待する“ボクシングとファミレスのタベ”です。後樂園ホールとファミリーレストランで共有する時間は至福の時です。

最後に、大好きな相田みつをの言葉から「ひとの世の幸不幸は、人と人との逢うことから始まる よき出逢いを」。ありがとうございました。

質問1 レフリーが試合をストップするタイミングは？

回答1 選手を守ることが一番大切。以前は目を見ていたが、今は一番ダメージの膝の動きを見てストップするか判断している。

質問2 レフリーとして心がけていることは？

回答2 勝者に対し敗者への敬意を失わぬよう指導している。

<閉会・点鐘> 13:30 八巻 会長

週報担当 上田 博 隆